

<参考1> 良質な医療サービスの提供(宮下・南会津病院に係る臨床指標分析)

○全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」より作成
○本事業は平成26年3月開始,全国892の自治体病院のうち174病院が参加(H28年12月現在)

○ 一般病院

No	指標名	宮下病院		南会津病院		全国自治体病院(H28)中央値	説明	計算式
		H28	H27	H28	H27			
1	入院患者満足度	70.8%	73.4%	74.0%	79.2%	98.0%	診療等に対する満足度	[分子] 満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数 [分母] 患者満足度の有効回答数
2	外来患者満足度	78.2%	77.6%	69.2%	77.4%	95.4%		
3	紹介率	31.9%	27.9%	18.1%	15.3%	66.2%	他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合	[分子] 紹介患者数+救急患者数 [分母] 初診患者数
4	逆紹介率	28.6%	30.5%	13.7%	13.2%	44.7%	当院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合	[分子] 逆紹介患者数 [分母] 初診患者数
5	在宅復帰率	83.2%	83.3%	85.9%	85.8%	90.5%	退院患者さんのうち,自宅などへの退院の割合	[分子] 退院先が自宅等の患者数 [分母] 退院患者数
6	院内他科入院中の精神科診察依頼頻度	4.0%	3.1%	0.0%	0.0%	7.0%	身体疾患で入院しているが,精神科の対応が必要な場合は紹介により精神科医が対応	[分子] 院内他科入院中の精神科診察依頼件数 [分母] 病床100床あたり
7	精神科病院からの身体疾患受入れ頻度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	治療中の精神疾患の対応があり,入院対応困難とする病院もある。より高い値を目指す	[分子] 精神科病院からの身体疾患受入患者数 [分母] 病床100床あたり
8	地域医療機関サポート率	11.4%	8.0%	87.5%	92.9%	63.3%	地域の多くの医療機関との連携を図っている場合には数値が高くなる	[分子] 二次医療圏内で紹介を受けた医科医療機関数 [分母] 二次医療圏内医科医療機関数
9	地域救急貢献率	14.5%	15.6%	53.9%	52.2%	21.8%	二次医療圏の救急搬送件数うち,当院で受け入れた割合	[分子] 救急車来院患者数 [分母] 二次医療圏内救急車搬送人数
10	転倒・転落レベル2以上発生率	0.00040件	0.00022件	0.03724件	0.001903件	0.00051件	入院患者さんが転倒・転落し,検査や処置が必要になった発生頻度	[分子] インテクト・アクテクトの入院患者転倒・転落数【レベル2以上】 [分母] 入院延べ日数
11	褥瘡推定発生率	0.0%	0.0%	1.2%	3.4%	1.3%	低栄養の患者さんが寝込んでいたりするとできる床ずれの発生率	[分子] 入院時に褥瘡なく調査日に褥瘡を保有する患者数+入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生の患者数 [分母] 調査日の施設在院数(人)
12	クリティカルパス使用率【患者数】	8.4%	12.9%	14.0%	16.5%	39.4%	クリティカルパスとは,ある疾患に対して入院から退院までに行われる検査や治療を経過日ごとに記載した診療計画書。クリティカルパスの使用状況	[分子] パス新規適用患者数 [分母] 新入院患者数
13	クリティカルパス使用率【日数】	1.1%	1.8%	5.1%	21.4%	20.8%		[分子] パス適用日数合計 [分母] 入院延べ日数
14	肺血栓塞栓症の予防対策実施率	—	—	100.0%	100.0%	92.2%	肺血栓塞栓症は,大きな手術後,ベッド上安静を長くしている場合に発症しやすい	[分子] 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策(弾性ストッキングの着用,間歇的空気圧迫装置の利用,抗凝固療法のいずれか,または2つ以上)が実施された手術数 [分母] 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術数

宮下病院内の様子

<病棟スタッフ>



地域の皆様に信頼される看護を目指して、訪問看護や出前講座などに取り組んでいます。

南会津病院内の様子

<救急外来スタッフ>



搬送受入の要請があった救急患者は決して断らない方針のもと、救急医療に積極的に取り組んでいます。